平成 22 年度学部卒業生フォローアップ調査結果

〈調査概要〉

目　的：寄せられた意見を今後の広島大学の教育・研究の改善に活かし，優れた人材育成に繋げていく。

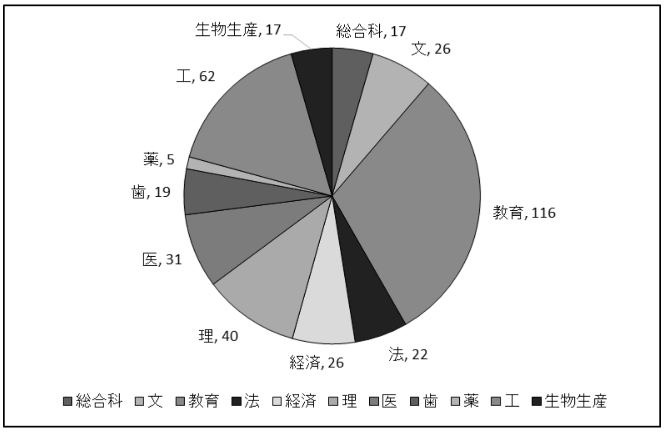
対　象：平成 22 年度学部卒業生

方　法：入学時の家族住所あて調査票を送付し本学あて返送。

期　間：平成 28 年 12 月 26 日～平成 29 年 2 月 28 日

状　況：発送数 2,476，未達数 200，回収数 381，有効数 381，回収率 15％

内　訳：総合科学部 17，文学部 26，教育学部 116，法学部 22，経済学部 26，理学部 40，医学部 31，歯学部 19，薬 5，工学部 62，生物生産学部 17

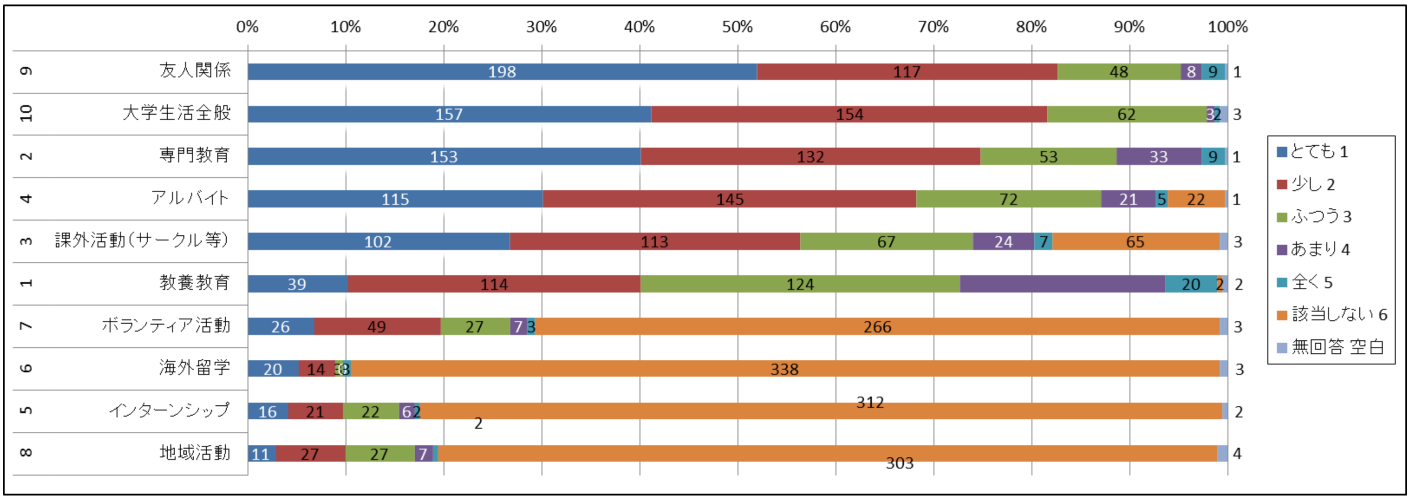


〈調査結果〉

【質問】５．大学生活全般の下の項目は，現在どの程度役に立っていますか？

1.教養教育，2.専門教育，3.課外活動（サークル等），4.アルバイト，5.インターンシップ，6.海外留学，7.ボランティア活動，8.地域活動，9.友人関係，10.大学生活全般，

【結果】



「とても」が高い順は，9. 友人関係，10. 大学生活全般，2. 専門教育の順である。

前年同様，9. 友人関係が最も現在役に立っているという結果になったのは，様々な人物と関わりを持つことでコミュニケーション能力や計画立案，社会的常識が養われた為と思われる。また，10. 大学生活全般においても一人暮らしやサークル活動などの経験が社会に出て行かされているという記述も多かった。2. 専門教育においては特殊な技能を要する企業に就職して役に立ったり，実際の業務には直接役立たないが，職場での物事の捉え方やコミュニケーションに役立っているという意見が見られた。

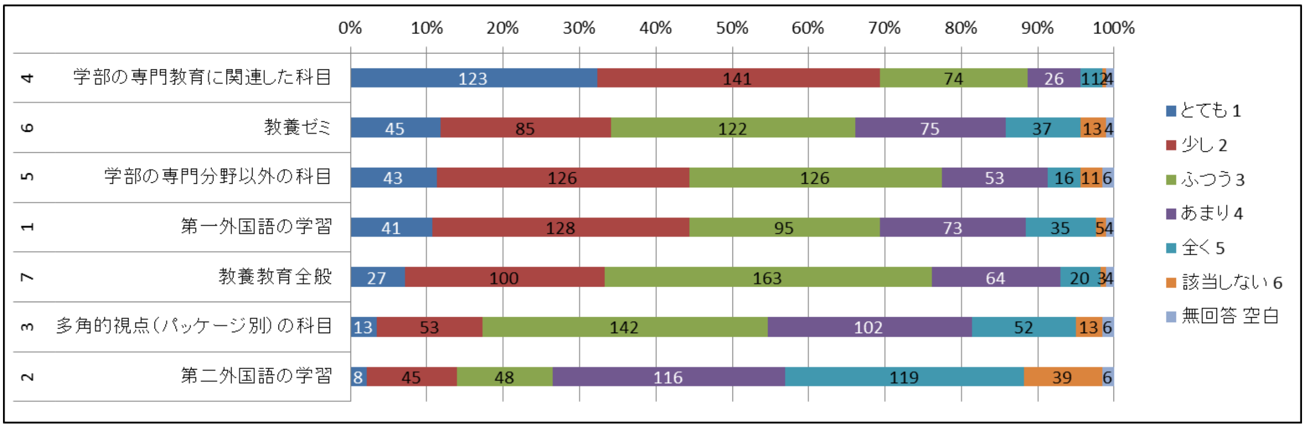
総合的には，大学で得た経験や人脈などが就職先を決める判断材料になっていたり，就職して社会で活かされていると言うような意見が多数見られた。

（6．学士課程教育について）

【質問】（1）教養教育の下の項目は，現在どの程度役に立っていますか？

1. 第一外国語の学習，2. 第二外国語の学習，3. 多角的視点（パッケージ別）の科目，4. 学部の専門教育に関連した科目，5. 学部の専門分野以外の科目，6. 教養ゼミ，7. 教養教育全般

【結果】



「とても」が高い順は，4. 学部の専門教育に関連した科目，6. 教養ゼミ，5. 学部の専門分野以外の科目と 1. 第一外国語の学習の順である。

4. 学部の専門教育に関連した科目と 5. 学部の専門分野以外の科目は就職後に幅広い知識を身につけていたことが役に立っているという意見が多かった。逆に「もっと学んでおけばよかった」と言うような意見も多く見られる。学生時代には単位取得優先で選んだが，実際社会に出て興味のあることを学習したかったというような後悔の意見も目立った。

1. 第一外国語の学習と 7. 教養教育全般に関しては，実際に役立てているという意見は少なかったものの幅広い知識が社会の中での考え方の手助けになっているようだ。

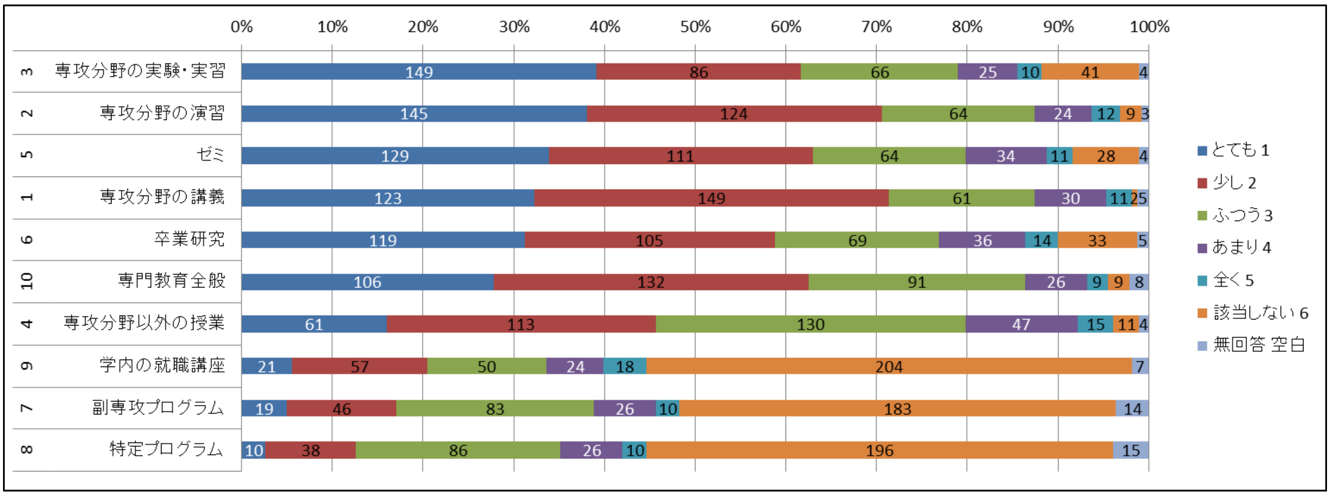
最も低かった 2. 第二外国語の学習に関しては，単位取得の為の選択で短期間と言うこともあり役に立っていないと言う意見と，もっと踏み込んで学習したかったというような意見が多少見られた。

平成 22 年度学部卒業生フォローアップ調査結果

【質問】（２）専門教育の下の項目は，現在どの程度役に立っていますか？

1. 専攻分野の講義，2. 専攻分野の演習，3. 専攻分野の実験・実習，4. 専攻分野以外の授業，5. ゼミ，6. 卒業研究，7. 副専攻プログラム，8. 特定プログラム，9. 学内の就職講座，10. 専攻教育全般

【結果】



「とても」が高い順は，3. 専攻分野の実験・実習と 2. 専攻分野の演習，5. ゼミ，1. 専攻分野の講義と 6. 卒業研究の順である。

1. 専攻分野の講義と 2. 専攻分野の演習に関しては，学部や就職先によって意見は分かれるものの，結果的に役に立ったと言うような意見が多く見られた。また，もっと学習を深めたかったという意見もあった。

10. 専門教育全般も企業に所属し，仕事を取り組む姿勢や思考力など精神的に役に立っているような意見が見られた。

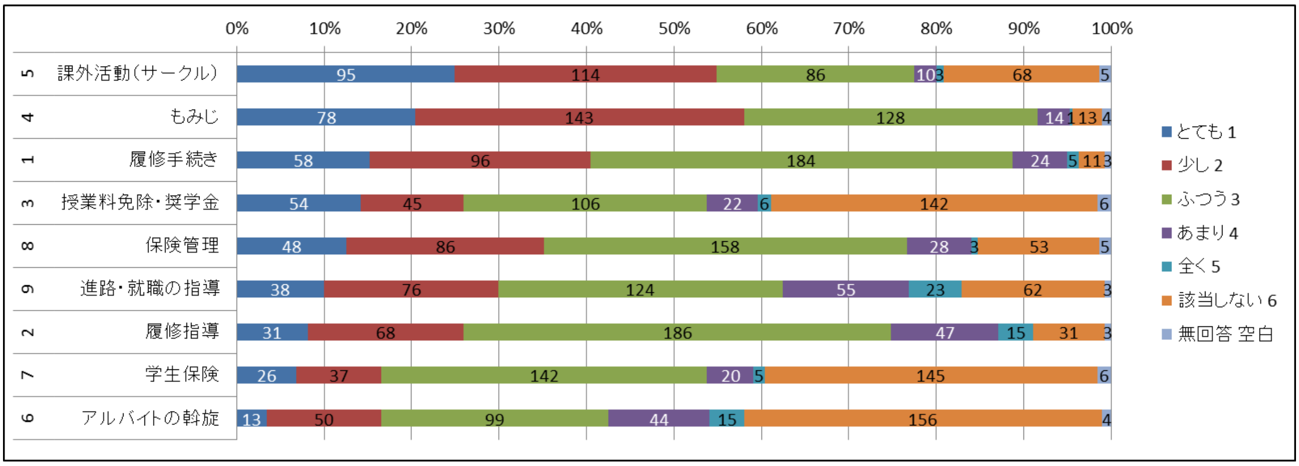
3. 専攻分野の実験・実習と 5. ゼミについてはその学習自体が実際の業務上に役に立つと言うよりは，社会人的な基礎を築くことで社会で役に立っていると言う意見が見られた。また，より実際の現場に近い実験・実習をしたかったという意見もあった。

（7．学生支援について）

【質問】学生対応・支援で下の項目はどの程度，充実していましたか？

1. 履修手続き，2. 履修指導，3. 授業料免除・奨学金，4. もみじ，5. 課外活動（サークル），6. アルバイトの斡旋，7. 学生保険，8. 保険管理，9. 進路・就職の指導

【結果】



「とても」が高い順は，5. 課外活動（サークル），4. もみじ，1. 履修手続きの順である。

4. もみじに関しては学生生活や情報取得の上で多くの学生が頼りにしていたと言うような意見が多かった。それと同時にシステムの使いづらさや情報公開の改善の要望が多かった。学部によっては伝わりづらい情報があり，後から知ったと言う学生もいたことから，もみじに対する情報収集が重要であると思われる。

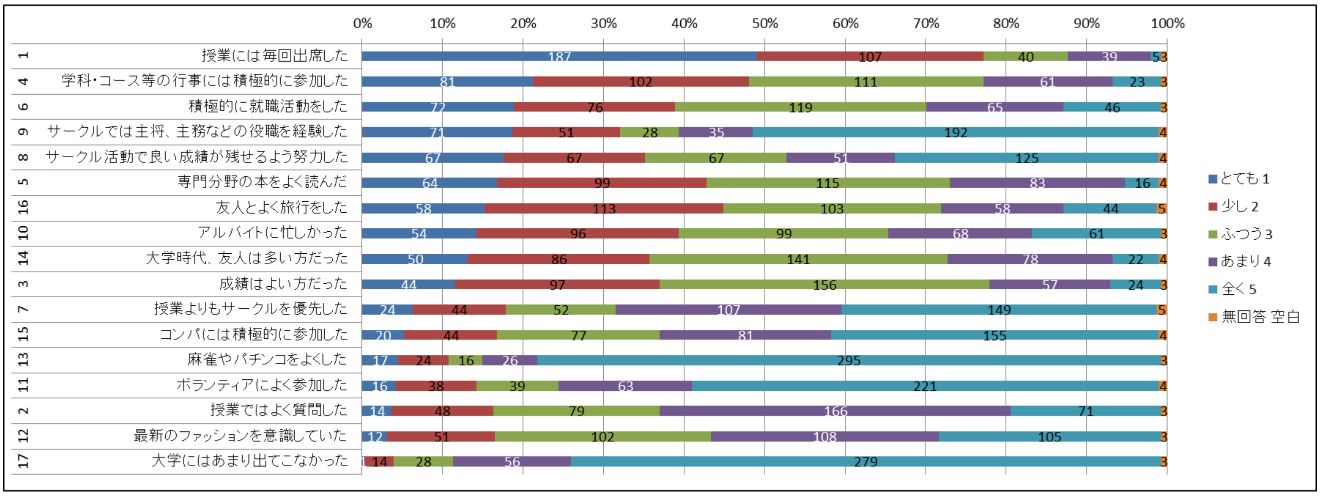
1. 履修手続きや 5. 課外活動（サークル）については，学生間での交流や先輩などからの支援が高評価に繋がったと思われる。一方で，学部によって教員や職員からの対応に不満を持つ意見も多い。しかし，総合的には指導や手続きの支援が良かったと言う意見が見られるため，充実した学生生活に貢献したのではないかと思われる。また，キャリアセンターの支援に助けられたということも多く書かれていた。

（８．学生生活について）

【質問】（１）下のような各項目は，学生時代のあなたにどの程度あてはまりますか？

1. 授業には毎回出席した，2. 授業ではよく質問した，3. 成績はよい方だった，4. 学科・コース等の行事には積極的に参加した，5. 専門分野の本をよく読んだ，6. 積極的に就職活動をした，7. 授業よりもサークルを優先した，8. サークル活動で良い成績が残せるよう努力した，9. サークルでは主将，主務などの役職を経験した，10. アルバイトに忙しかった，11. ボランティアによく参加した，12. 最新のファッションを意識していた，13. 麻雀やパチンコをよくした 14. 大学時代，友人は多い方だった，15. コンパには積極的に参加した，16. 友人とよく旅行をした，17. 大学にはあまり出てこなかった

【結果】



「とても」が高い順は，1. 授業には毎回出席した，4. 学科・コース等の行事には積極的に参加した，6. 積極的に就職活動をしたの順である。

全項目において前年同様の評価になっている。

1. 授業には毎回出席したについての意見は少なかったが，4. 学科・コース等の行事には積極的に参加したに関連する意見の中で，オリキャンをきっかけに学部の横の繋がりができたなど友好関係に満足する内容が多かったことから，それが授業の出席にも繋がっているのではないかと思われる。

5. 専門分野の本をよく読んだについては在学中の学習や試験が印象に残っている為と思われる。興味のあることを積極的に学習したり，友人達と共に学習したことが当てはまったのではないか。

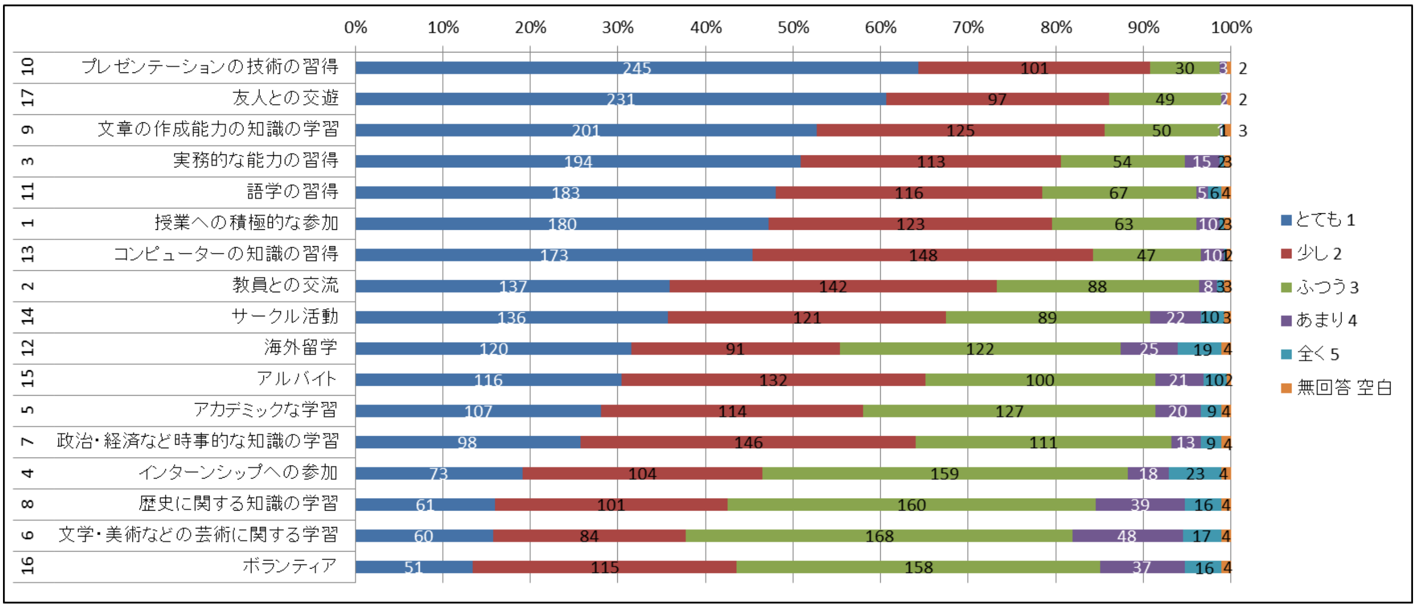
また，総合的にはサークル活動やアルバイト，友人と行動した経験が社会に出ても情報交換や自身の幅を拡げると言った様なことが多く書かれていた。

平成 22 年度学部卒業生フォローアップ調査結果

【質問】（3）あなたが現在の学生にアドバイスするとしたら，次のような大学時代の学習や経験をどの程度すすめますか。

1. 授業への積極的な参加，2. 教員との交流，3. 実務的な能力の習得，4. インターンシップへの参加，5. アカデミックな学習，6. 文学・美術など芸術に関する学習，7. 政治・経済などの時事的な知識の学習，8. 歴史に関する知識の学習，9. 文章の作成能力の知識の学習，10. プレゼンテーションの技術の習得，11. 語学の習得，12. 海外留学，13. コンピュータの知識の習得，14. サークル活動，15. アルバイト，16. ボランティア，17. 友人との交遊

【結果】



「とても」が高い順は，10. プレゼンテーションの技術の習得，17. 友人との交遊，9. 文章の作成能力の知識の学習の順である。

全項目が前年と同様の評価になっている。

評価の高かった 10. プレゼンテーションの技術の習得と 9. 文章の作成能力の知識の学習に関しては，主に社会に出て必要だと感じる意見が多かった。計画や資料作成などは多くの企業で必要となる為，習得を勧める卒業生が多い。それに付随して 17. 友人との交遊も重要と見られている。意見として多く見られたのは，学生の内に経験できる事は経験しておくべきという内容だった。一人より友人などの仲のいい人物と共にやった方が色々な経験ができ，その経験が社会に出てもコミュニケーションや社会的な常識に繋がるからと思われる。

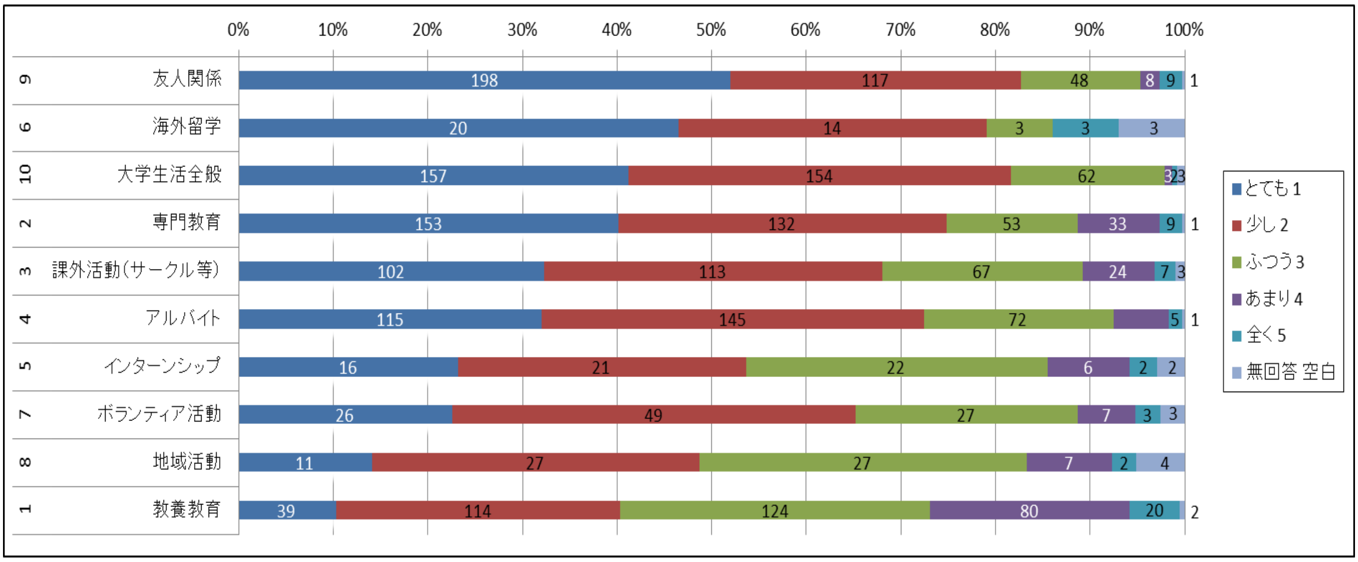
また，4 番目に高いアドバイスとして 13. コンピューターの知識の習得がきている。意見として多かったのは，社会に出てプレゼンテーション能力は重要視されているが，その為に資料作成などに役立つパソコンが使える方が良いという考えだ。また，企業に入れば必ずパソコン業務があり，使えた方が様々な面で役に立つとも書かれていた。

（参考）平成 22 年度学部卒業生フォローアップ調査結果（質問５・６.質問(２)・７質問の該当しないを除く Ver.）.

【質問】５．大学生活全般の下の項目は，現在どの程度役に立っていますか？（該当しないを除いた場合）

1. 教養教育，2. 専門教育，3. 課外活動（サークル等），4. アルバイト，5. インターンシップ，6. 海外留学，7. ボランティア活動，8. 地域活動，9. 友人関係，10. 大学生活全般，

【結果】



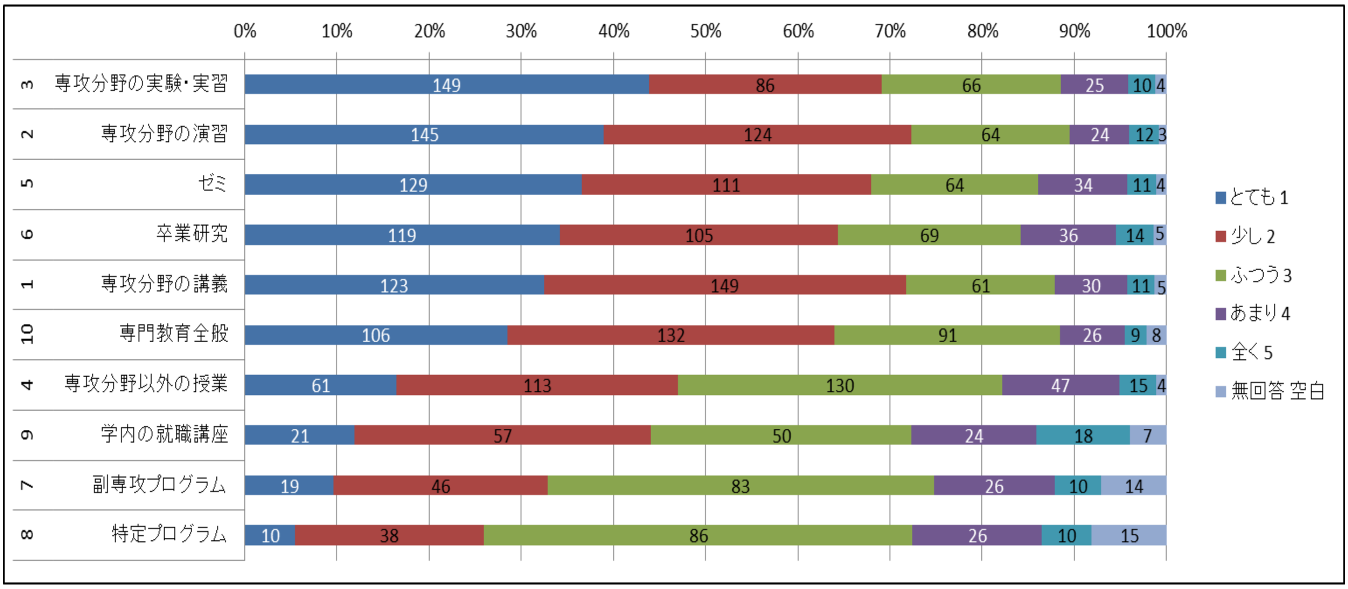
「とても」が高い順は，9. 友人関係，6. 海外留学，10. 大学生活全般の順である。海外留学を行った者は，「とても」を選ぶ者が２番目に多くなった。

（６．学士課程教育について）

【質問】（２）専門教育の下の項目は，現在どの程度役に立っていますか？（該当しないを除いた場合）

1.専攻分野の講義，2.専攻分野の演習，3.専攻分野の実験・実習，4.専攻分野以外の授業，5.ゼミ，6.卒業研究，7.副専攻プログラム，8.特定プログラム，9.学内の就職講座，10.専攻教育全般

【結果】



「とても」が高い順は，3.専攻分野の実験・実習，2.専攻分野の演習，5.ゼミの順である。

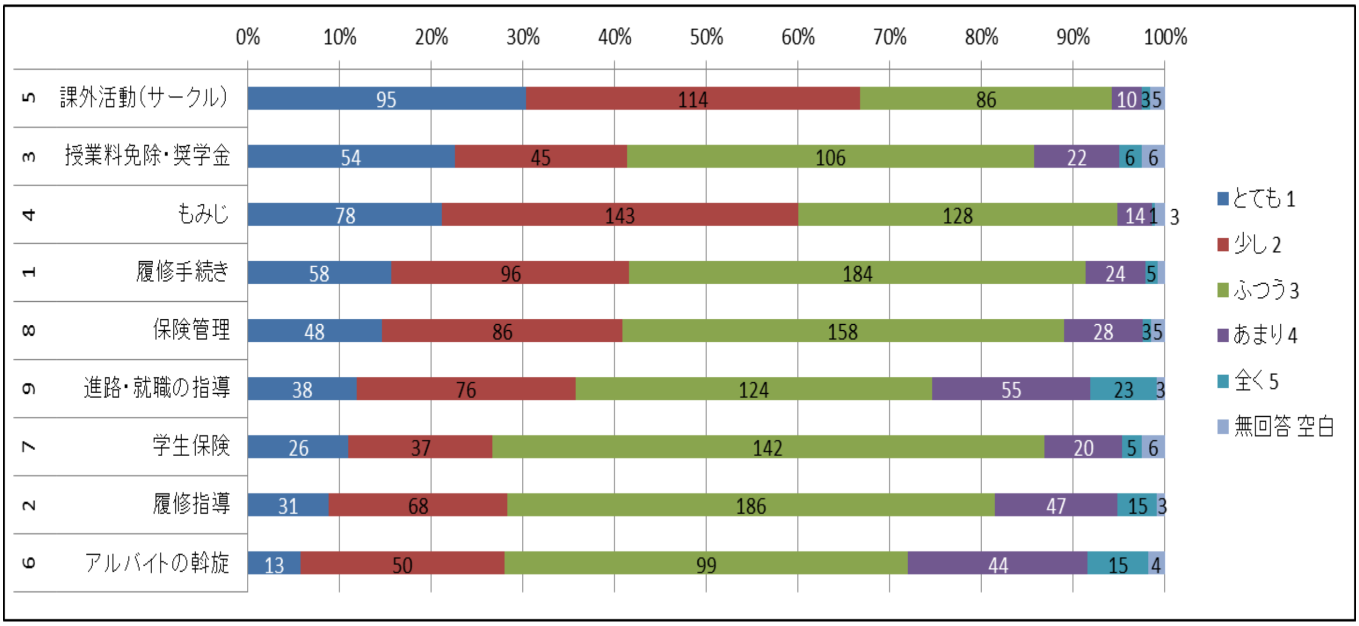
（参考）平成 22 年度学部卒業生フォローアップ調査結果（質問５・６.質問(２)・７質問の該当しないを除く Ver.）.

（7．学生支援について）

【質問】学生対応・支援で下の項目はどの程度，充実していましたか？（該当しないを除いた場合）

1.履修手続き，2.履修指導，3.授業料免除・奨学金，4.もみじ，5.課外活動（サークル），6.アルバイトの斡旋，7.学生保険，8.保険管理，9.進路・就職の指導

【結果】



「とても」が高い順は，5.課外活動（サークル），3.授業料免除・奨学金，4.もみじの順である。

授業料免除・奨学金を受けた者は，「とても」を選ぶ者が２番目に多くなった。